

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成25年4月11日(2013.4.11)

【公開番号】特開2010-279031(P2010-279031A)

【公開日】平成22年12月9日(2010.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2010-049

【出願番号】特願2010-112487(P2010-112487)

【国際特許分類】

H 04 N 7/26 (2006.01)

H 04 N 7/167 (2011.01)

G 09 C 5/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 7/13 Z

H 04 N 7/167 Z

G 09 C 5/00

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月27日(2013.2.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ディジタル・コンテンツを表す符号化データのビットストリームに透かし支援データを挿入する方法であって、置換する対象の符号化データを識別する識別データを前記符号化データのビットストリームに挿入し、少なくとも1つの置換データを、置換する対象の符号化データ毎に挿入する工程を含み、

前記方法は、前記置換データによって置換される対象の前記符号化データを置換するやり方を規定するフォーマット・データを前記符号化データのビットストリームに挿入する工程を更に含む方法。

【請求項2】

請求項1記載の方法であって、前記フォーマット・データは、置換データの数を規定する方法。

【請求項3】

請求項1又は2に記載の方法であって、前記フォーマット・データは、前記置換データのフォーマットを規定する方法。

【請求項4】

請求項1乃至3の何れか一項に記載の方法であって、前記フォーマット・データは、前記符号化データを表す検査データを規定する方法。

【請求項5】

請求項4記載の方法であって、前記検査データは、置換する対象の前記符号化データから計算される巡回冗長度検査である方法。

【請求項6】

請求項4記載の方法であって、前記検査データは、置換する対象の前記符号化データである方法。

【請求項7】

請求項3記載の方法であって、前記フォーマットは、前記識別データが、置換する対象

の前記符号化データの先頭を識別する絶対アドレスである方法。

【請求項 8】

請求項 3 記載の方法であって、前記符号化データのビットストリームが伝送パケットにカプセル化され、前記フォーマットは、前記識別データが、置換する対象の前記符号化データの先頭に対するオフセット値、及び置換する対象の前記符号化データを含む伝送パケットを識別するデータを含むことを規定する方法。

【請求項 9】

請求項 1 乃至 8 の何れか一項に記載の方法であって、前記識別データ、前記置換符号化データ、及び前記フォーマット・データは、補助拡張情報メッセージのフォーマットで前記符号化データのビットストリームに挿入される方法。

【請求項 10】

ディジタル・コンテンツを表す、符号化データのビットストリームであって、
置換する対象の符号化データを識別する識別データと、
置換する対象の符号化データ毎の少なくとも 1 つの置換データとを含み、
前記符号化データのビットストリームは、前記ビットストリームが、前記置換データによって置換する対象の前記符号化データを置換するやり方を規定するフォーマット・データを更に含む、符号化データのビットストリーム。